

注目の9月議会 医療・介護が焦点に

来年4月から医療制度が大きく変わります。74歳までの医療費負担が1割から2割になるほか、後期高齢者医療制度のスタートや、特定検診・特定保健指導のスタートなど、医療制度「構造改革」の全面的な展開となります。今回、私は一般質問でこの医療問題3件を取りあげます。私の質問は9月10日（月）午後1時30分頃からです。傍聴をお願いします。

市議会議員 笹田トヨ子

1、医療「構造改革」のもと、医療・介護への影響について

医療「構造改革」の主要な目的は医療費（社会保険給付費）の削減で、その具体策の一つに病床数の削減が出されています。高齢者用病床を数年間で23万床の削減、一般病床を数年間で15万床削減するというもの。長期入院の患者さんが医療難民・介護難民になってしまうのではと心配されます。

①介護保険3施設や医療保険療養型病床の利用状況、また特別養護老人ホームの待機者の数など、施設入所者の現状を明らかにし、国の政策で大垣地域ではどれだけの影響を受けるのか、またその対策について。

②今後、在宅療養に重点をおく医療・介護になると思われるが、その対応策、特に「訪問看護」や「リハビリ」の実践について。

「垣老」の行方に注目!

9月議会に提出されている、「大垣市老人医療制度（垣老）の拡充を求める請願」（9500筆）は9月14日午前10時から開かれる文教厚生委員会で審議されます。委員会は傍聴ができますので是非傍聴して下さい。なお、自民クラブの岩井議員が、一般質問で「垣老」についてを取り上げます（2番目10時過ぎ）。

2、後期高齢者医療制度の運営について（注）

来年4月から医療「構造改革」の一つとして、「後期高齢者医療保険」がスタートします。保険者の岐阜県広域連合に下記の意見の反映を求めます。

- ①保険料の滞納者に対して資格証明書の発行（保険証を発行しない）といった制裁措置をとらないこと。
- ②低所得者に対し独自の減免制度を設けること。
- ③75歳以上の医療内容を切り下げないこと。
- ④後期高齢者の健診は「努力義務」になっているが、75歳以上の方も健診を実施すること。
- ⑤広域連合職員の人件費や独自減免制度、健診の費用を補助金として岐阜県に対し要請すること。

注）後期高齢者医療制度とは

75歳以上の高齢者を国保や健保から切り離して新たに被保険者とする独立した医療保険制度を作り、高齢者一人一人から保険料を徴収するものです。介護保険と同じ様に、給付の多くなる後期高齢者だけを集め、医療給付費が増えれば保険料を値上げすることを意図したしくみです。保険料は月額1万5千円以上の年金受給者はすべて年金天引きになります。

9月議会の日程

10日（月）	10:00	本会議（一般質問）
12日（水）	10:00	中心市街地活性化に関する委員会
	13:00	市民病院に関する委員会
13日（木）	10:00	建設環境委員会
	13:00	経済産業委員会
14日（金）	10:00	文教厚生委員会
	13:00	企画総務委員会
18日（火）	9:30	議会運営委員会
	10:00	本会議

3、大垣市民病院について

市民病院は急性期医療を担う西濃地域の中核病院で、急性期の治療が終了すれば退院や転院を迫られます。療養病床を削減する動きの中で、行き場のない患者さんが増えるのではないかと予想されます。

①国の医療制度改革の中、療養型病床は削減され、ますます受け皿になる在宅医療の充実が求められますが、市民病院としてどのように対応していくのか。

②3月議会、看護師増員の質問に対して、7:1看護配置をめざすという答弁だったが、看護師獲得の取り組みについて。